

入場無料・参加申込不要

高知小水力利用推進協議会 第5回総会記念 講演会

講演

1

自治会や地域が
小水力発電に取り組む意義
鳥越 皓之さま (大手前大学)

講演

2

地域の未利用水・竹資源から
価値を生み出す取組み
鶴羽 正幸さま (バンブーケミカル研究所)

高知小水力利用推進協議会は2011年3月より活動をしています。持続可能な循環型地域社会の構築と環境保全に寄与することを目的とし、地域資源である水のチカラの利活用について活動して参りました。活動は5年目に入っており、より具体的でより実践的な活動が求められていると感じています。今回は、地域資源を地域のチカラに還元するための研究や開発を行っている御二方に御講演をお願いしています。是非ご聴講下さい。

2015年
6月27日(土)

時間▶15:00~17:00(受付開始 14:30)

場所▶高知市立自由民権記念館 民権ホール
〒780-8010 高知県高知市棧橋通4丁目14-3

TEL▶088-831-3336 FAX▶088-831-3306

URL▶<http://www.i-minken.jp/access.html>

会場は駐車台数が限られますので、なるべく公共機関をご利用ください

主催：高知小水力利用推進協議会

本講演会は、公益財団法人河川財団の河川整備基金の助成を受けています

地域資源による

地域力復活





鳥越 皓之 さま
[大手前大学]

高知小水協 古谷理事より

鳥越皓之さまについて

日本の社会学者、民俗学者。1944年、沖縄県今帰仁村生まれ、豊中市に暮らす。専門は環境社会学、環境民俗学、文化人類学。日本社会学会会長。琵琶湖をフィールドに前滋賀県知事嘉田由起子氏らとともに「生活環境主義」という環境理論を構築した。コミュニティ、まちづくり、景観論、地域自治会、NPOなどの研究者。関西学院大学、筑波大学、早稲田大学を経て、現在、大手前大学副学長。著書多数。岩波ブックレット『地域の力で自然エネルギー』の第6章を執筆。神戸市在住。



鶴羽 正幸 さま
[バンブーケミカル研究所]

高知小水協 坂東運営委員より

鶴羽正幸さまについて

1947年生まれ、2008年に阿南高専特命教授となり、2010年高専発ベンチャー企業である株式会社バンブーケミカル研究所を設立、代表に御就任。竹チップ製造機から小水力発電装置にいたるまで、数々の開発設計・販売をされ、昨年はヒジキの乾燥を手助けする海藻脱水機を完成されました。

私は3年前に会員に鶴羽様を紹介され、早速、物部から、ひと山こえて阿南高専へ。さすがはモノ作りのプロ。短時間でわかりやすく説明され、竹パウダー自動製造機を動かしながら、将来、小水力発電とのコラボで、日本中の里山保全の力になればと、夢をかたりあいました。今回その後の、お話を聞けることを楽しみにしています。

連絡先▶高知小水力利用推進協議会 事務局

電話を受けられるスタッフが常駐していません。ご質問等はできるだけ電子メールでおねがいします。

〒782-0003

高知県香美市土佐山田町宮ノ口185番地

高知工科大学地域連携棟302 菊池研究室内

Email▶query@kochi-shp.org TEL▶0887-57-2778(留守番電話)